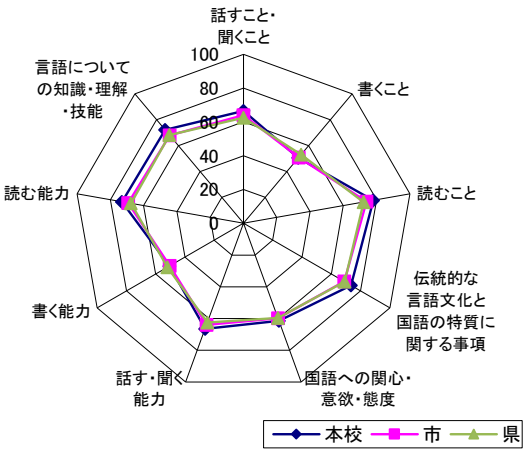


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	66.5	64.0	62.5
	書くこと	50.5	50.9	53.1
	読むこと	78.0	73.9	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.4	68.9	69.1
観点	国語への関心・意欲・態度	61.4	59.9	59.7
	話す・聞く能力	66.5	64.0	62.5
	書く能力	50.6	50.4	52.0
	読む能力	73.0	69.3	67.6
	言語についての知識・理解・技能	72.2	67.9	68.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は、66.5%で県の正答率を4ポイント上回っている。 ○「話し方の工夫に注意して聞き取る」の正答率は76.1%であり、8.1ポイント上回っている。	・学校で共通して取り組んでいる「聞き方あいうえお・話し方かきくけこ」に基づいた指導を行ってきた結果、結論を先に言うということが身に付いてきたと思われる。引き続き、日々の授業の中で指導していく。
書くこと	●本領域の平均正答率は、50.5%で県の正答率を2.6ポイント下回っている。 ●「理由や事例を挙げて文章を書く」の正答率は51.5%であり、5.7ポイント下回っている。	・他教科の学習においても、自分の考えを、理由を明確にしながら表現する機会を多く設け、「書く」指導の充実を図る。
読むこと	○本領域の平均正答率は、78.0%で県の正答率を5.8ポイント上回っている。 ○「場面のようなすや登場人物の気持ちを読み取る」の正答率は83.6%であり、8.1ポイント上回っている。 ○「内容を的確に読み取る」の正答率は91.0%であり、3.6ポイント上回っている。	・読書活動を引続き推進し、文章に触れる機会を多くつくる。 ・説明文の学習の際に、キーワードや接続詞に着目して段落の役割を捉えさせる授業を心掛けてきた。今後も継続して指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本領域の平均正答率は、73.4%で県の正答率を4.3ポイント上回っている。 ○「漢字の読み書き」については、全ての設問で県の正答率を上回っていた。 ●「文の構成(主語と述語)」の正答率は45.5%であり、7.2ポイント下回っている。	・主語・述語・修飾語の意味やそれぞれの関係について繰り返し学習を行い、習熟を図る。 ・文章の読み取りや表現の学習においても、主語・述語を意識付けながら継続して指導していく。